

開設から5年

大船渡市市民活動支援センターは

多くの人に利用されています

地域や趣味のために何かをしたい人や

団体活動を行っている人はお気軽にどうぞ

▽問い合わせ先 市民協働準備室(☎内線296)

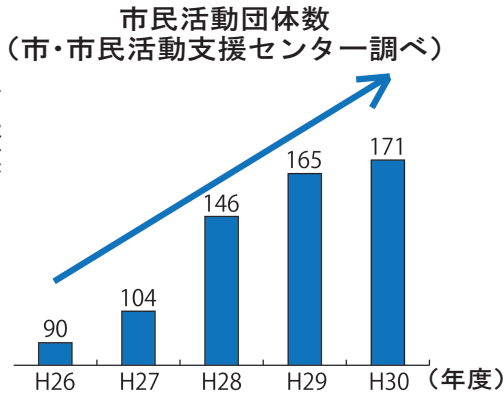
市民活動支援

センターとは

市内では、従来から多くの市民活動団体やNPOがさまざまな活動を行っています。

東日本大震災発生後は、市外から多くの支援団体が訪れ、市内でも新たな活動団体が発足し、団体数は約2倍に増加しました。

市は、震災後の地域コミュニティの再構築とともに、市民活動団体の支援を行うため、市内の関係団体と協議会を結成し、平成26年2月、サン・リア2階に大船渡市市民活動支援センターを開設しました。開設から5年が経過し、現在では利用者が年間延べ1,400人にのぼっています。



センターの運営は平成30年度からNPO法人が行っており、平日(祝祭日除く)の午前10時から午後6時まで、4人のスタッフが対応しています。どなたでもご利用できますので、お気軽にお越しください。

市民活動団体と

センターの役割

センターでは、子育て、社会福祉、地域づくり、防災、環境、文化・スポーツなどの市民活動団体や、NPO・ボランティア、そしてこれから活動しようとしている人に対し、事業企画や運営、資金調達、広報、マッチングなどの支援と情報の発信をしています。

人口減少や少子高齢化が進む中、多様化、複雑化する市民ニーズに、行政のみでは対応できなくなることが想定されます。

市民活動団体やあらゆる団体と行政が協働し、一緒に地域の活性化や課題解決に取り組むことがますます重要となります。

また、同じ興味や趣味を有する人たちが集まることで、コミュニケーションの輪が広がり、豊かな社会生活を送る一助になります。

センターは、これらの団体の情報・交流に係る基盤とネットワークを構築し、さらなる活動の促進と協働の推進に資する中間支援団体として、重要な役割を担っています。

センターでは、市民活動の相談や、団体のスキルアップ・情報発信・交流などの支援を行っており、次の4つが主な業務内容です。



市民活動支援センターの様子

センターの業務内容

センターでは、市民活動の相談や、団体のスキルアップ・情報発信・交流などの支援を行っており、次の4つが主な業務内容です。

相談窓口・

資金調達支援

活動を行う上で生じる困り事や課題などの解決に向けて、団体活動に詳しいスタッフが丁寧に対応する相談窓口を設置しています。

活動に係る助成金に関する情報の提供や申請書の書き方、市が毎年募集している市民活動支援補助金に関する個別相談にも応じています。

このほか、団体イベントの告知の支援や、「団体やNPO法人を設立したい」「ほかの団体と一緒に活動したい」などの声にも応えています。

平成30年度は、118件の相談が寄せられました。このうち、資金調達については、18件、総額579万円の実現に結びつきました。

